

「脳と社会」分科会主催 サイエンス・ブレインストーミング
「脳科学と神経神話～科学と社会の健全な関係を探る～」

近年爆発的に 発展している脳神経科学の一方で、科学的根拠の曖昧な怪しげな
「神経神話」が跳梁している現状を踏まえ、脳科学と社会との健全な信頼関係を
築くための模索の第一歩にしたいと思っています。

日時：2006年11月25日（土） 13時～ 15時
場所：東京国際交流館 プラザ平成4F 会議室 2
(ゆりかもめ船の科学館駅 徒歩5分)

●参加者（五十音順 敬称略）：

青野由利（毎日新聞社科学環境部編集委員）
今泉柔剛（文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課課長補佐）
金子武嗣（京都大学医学研究科教授）
兼子将敏（NHKエデュケーショナル科学健康・データ放送部 プロデューサー）
川端裕人（フリージャーナリスト）
坂井克之（東京大学医学系研究科助教授）
長谷川一（明治学院大学助教授）
松村京子（兵庫教育大学大学院教育研究科教授・兵庫教育大学附属小学校校長）

●主催・企画・運営

「脳を活かす」研究会・「脳と社会」分科会
<http://www.cns.atr.jp/nou-ikasu/index.html>

メンバー：

入来篤史（理化学研究所脳科学総合研究センター・チームリーダー）
北澤茂（順天堂大学医学部教授）
佐倉統（東京大学大学院情報学環助教授）
本田学（国立精神・神経センター神経研究所部長）

※ この催しはJST主催の「サイエンス・アゴラ2006」の一環としておこなわれるもの
です。科学と社会の交わる広場（アゴラ）を目指して企画されたサイエンス・アゴ
ラについて、詳しく<http://www.scienceagora.jp/> を御覧ください。

“事前のお申し込み受付はいたしません。当日会場へお越し下さい。なお、当日はご参加者が多い
場合は会場へのご入場をお断りさせて頂く場合もございますので、ご了承下さいませ。”